

山梨県立ろう学校第3回学校運営協議会 協議結果等について

日時：令和8年2月25日（水） 14：00～15：30

場所：山梨県立ろう学校 文化交流会館 交流ホール

<次第>

- 1 はじめの言葉（司会）
- 2 副会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 議事<議長：副会長>
 - (1) 令和7年度学校評価（年度末自己評価）について（教頭）
 - (2) 令和7年度学校評価（学校関係者評価）について（教頭）
 - (3) 次年度以降の本校の課題と取り組み
及び学校運営協議会委員の選出について（教頭）
 - (4) その他
- 5 報告
 - (1) 令和7年度いじめ実態アンケート調査結果について（生徒指導主事）
 - (2) 東京2025デフリンピック教育活動について（渉外交流主任）
 - (3) その他
- 6 連絡事項
 - (1) 令和8年度学校運営協議会開催日程について

第1回	4月22日（水）
第2回	11月11日（水）
第3回	2月19日（金）
 - (2) その他
- 7 意見・懇談（各委員の方々から）
- 8 閉会の言葉（司会）

<副会長あいさつ>

・今年度最後の学校運営協議会。学校関係者評価の話もある。建設的な意見を出し合う場としたい。

<学校長あいさつ>

- ・幼児児童生徒数の減少について
- ・教員の働き方の見直しと分掌の改編について
- ・デフリンピックの成果について 選手から学ぶことが多かった。

- ・本校PTAが表彰された件について。

<議事>

(1) 令和7年度学校評価（年度末自己評価）について

○学校より説明

○質問・意見等（アンケート結果を受けて）

- ・生徒アンケートの項目7で「1」をつけた生徒がいたが、その理由への学校としての対応をどのように考えているか。

→該当生徒に確認したところ、「自己反省の意味で1をつけた」とのこと。項目の表現等、わかりやすくする工夫をしていきたい。

- ・保護者アンケート項目7で「1」をつけた保護者がいたが、学校としてどのように考えているか。

→学校として、いじめに関する事案は把握していない。今後、質問項目の表現や聞き方も含めて検討したい。

- ・「どちらともいえない」という回答が多い項目がある。質問内容が答えにくいのではないか。

→回答の選択肢や項目の表現も含め、改善を検討したい。

○質問・意見等（報告書を受けて）

- ・報告書中の「やまなし教員等育成指標」とは何か。

→教員の経験年数に応じて5つのステージに区分されており、各ステージに目標や指標が設定されている。

- ・校内研修会ではどのような内容を実施したのか。

→各学部の研究主題に基づき授業実践を見ていただき、県外を含む聴覚障害の専門家を講師として招き、助言をいただいた。

- ・教員の記述にある「ろう学校で勤務される先生方へ」という冊子とはどのようなものか。

→本校の聴覚障害のある教員が作成した冊子で、先生方への依頼事項や留意点などを掲載している。

- ・幼児・生徒一人ひとりのレベルはさまざまだが、集団の中で力をつけているかを見ていきたい。

- ・教員記述に「心理士の活用が増えている」とあるが、具体的な状況と今後の見通しはどうか。

→言語聴覚士が2名配属されているが、心理士の配置は現段階では難しい状況。重複障害のある児童生徒が増え、支援のニーズが高まっている。その状況は県にも報告しており、心理士が配置されている他の支援学校と連携して対応を進めている。

(2) 令和7年度学校評価（学校関係者評価）について

○別紙説明

○質問等 →特になし

(3) 次年度以降の本校の課題と取組み及び学校運営協議会委員の選出について

○資料説明

○質問等 →特になし

(4) その他 →特になし

<報告>

(1) 令和7年度いじめ実態アンケート調査結果について

○資料説明

○質問等 →特になし

(2) 東京2025デフリンピック教育活動について

○パワーポイントにて説明

○質問等

- ・ 私たちもいろいろなところでPRを行うことができた。良い経験となった。御協力ありがとうございました。
- ・ 今年、関東のろう者大会が行われる。盛り上げていきたい。

(3) その他 →特になし

<連絡事項>

(1) 令和8年度学校運営協議会開催日程について

第1回 4月22日（水）

第2回 11月11日（水）

第3回 2月19日（金）

(2) その他 →特になし

<意見・懇談（各委員の方々から）>

- ・ 学校と親密に連携できていると感じる。今後は、もっと委員会を積極的に頼っていただいてもよい。
- ・ デフリンピックなどを通じて、社会全体に人権意識が浸透してきているのを感じる。在籍数が減ってきていることは理解できるが、その中でも学校の専門性は大切にしていきたい。
- ・ 子どもたちも教職員も、楽しそうに学校生活を送っており良い雰囲気だと感じる。今後も、ろう学校の良さがより多くの人に広がっていくことを期待している。

- 全国的に障害者に関わる大会が広まりつつあるが、デフリンピックはまだ十分に知られていない面がある。聴覚障害に対する理解がさらに広がっていくと良い。
- これまでさまざまな経験をさせていただいた。ろう学校の今後の発展を心より願っている。
- 運動会が工夫されており、とても楽しかった。聴覚障害者情報センターを活用してもらえたことにも感謝している。このような地域の資源を知り、活用していくことが大切だと感じた。
- デフリンピックは、子どもたちにとって素晴らしい経験になったと感じている。寄宿舎と地域の手話サークルは20年以上にわたり交流しており、今後も子どもたちが地域の手話サークルとのつながりを持ち続けることが重要だと思う。また、子どもたちの生活する地域の手話サークル等との交流も必要であると感じる。